# エコ・ファーストの約束（更新書）

環境先進企業としての地球環境保全の取り組み

環境大臣 石原 宏高 殿

2026年2月9日

YKK AP株式会社
代表取締役社長 魚津 彰

YKK APは、次世代に対してより良い社会・環境をつくるために
技術革新による新しい価値の創造、環境負荷ゼロに挑戦します

## 1. 2040年カーボンニュートラルに向け、事業活動の全工程で温室効果ガス削減や気候変動への適応に取り組みます。

- 温室効果ガス削減に寄与する商品や気候変動対策商品を積極的に開発、拡販するとともに、高断熱窓の普及により、家庭・オフィスビル等の民生部門における$CO_2$排出量の削減に貢献します。あわせて、国産木材を使用した商品やビル用アルミ形材断熱窓の開発をはじめとした「技術革新による価値創造」に取り組みます。
- 効率的なエネルギー使用と再生可能エネルギーの導入を推進することで、事業活動による自社からの$CO_2$排出量（スコープ1+2）を2030年度までに2013年度比80%削減するとともに、温室効果ガス排出量2040年実質ゼロを目指します。
- アルミ・樹脂のリサイクル技術の確立を推進することで、サプライチェーン$CO_2$排出量（スコープ3）を2030年度までに2013年度比30%削減を目指します。
- TCFDへの賛同やSBT認定の取得、エコリーフなど第三者認証の取得を通じて、気候変動への取り組みや情報を積極的に開示します。

## 2. 商品のライフサイクルを通じ廃棄物発生を抑制するべく、サーキュラーエコノミーの概念を取り入れ持続可能な資源の利用を進めます。

- 樹脂窓の製造工程で発生する端材について、新たな技術による新規用途開発に取り組みます。
- アルミ・樹脂の社外リサイクルについて、産学官民連携で市中のアルミのリサイクル化を加速するとともに、産官学連携で市中の樹脂窓を回収・リサイクルするシステムの構築に向けて取り組みます。
- 事業活動における廃棄物排出量の最小化に向け、国内・海外製造拠点において、分別の徹底と有価物化、廃棄物リサイクル率の向上に取り組みます。商品輸送時の包装資材についても環境負荷の少ない適正な包装形態となるよう改善に取り組み、削減に努めます。

## 3. 事業活動による生態系への影響を最小限に抑えるとともに、地域社会と連携して自然環境の保護に取り組み、自然・地域との共生を目指します。

- 持続的な水利用の実現を目指し、拠点ごとの取水に関わるリスクの把握、排水の自主管理基準の強化を進め、汚染の防止に努めます。また、水の循環利用を推進し、水使用量の削減に取り組みます。
- 大気汚染物質について、自主管理基準を設けて低排出量の維持に努めるとともに、排出状況に関する情報を公開します。また、国内工場の化学物質の使用量および排出・移動量を把握し、削減に向け取り組みます。
- 国内・海外の各拠点において、工場や周辺地域の緑化、環境保全活動に積極的に取り組みます。また、従業員への環境教育を行い意識啓発を図るとともに、子どもたちへの環境教育やボランティア活動を通じて、環境を守ることの大切さを伝え、持続可能な社会の担い手の育成に貢献します。

YKK AP株式会社は、上記取り組みの進捗状況を確認し、
その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告いたします